

## 情報公開文書（オプトアウト）

「回復期脳卒中患者の下腿三頭筋の痙縮に対する拡散型圧力波療法が最大歩行速度に与える即時的影響」

# 研究に関するデータ利用のお願い

## 1. はじめに

今回、偕行会リハビリテーション病院に入院された脳卒中片麻痺患者様のうち、下腿三頭筋の痙縮に対して拡散型圧力波を実施された方の診療情報を用いて、拡散型圧力波単回介入前後における最大歩行速度等の即時的変化を検討したいと考えております。

本研究は、通常診療の過程で電子カルテに記録された情報を後方視的に解析する研究であり、患者様に新たな検査や治療をお願いするものではありません。

## 2. 研究の方法及び期間

1) 研究期間 2024年3月14日～2026年6月30日

2) 研究方法

対象は、2023年4月～2025年6月に偕行会リハビリテーション病院に入院された初発脳卒中片麻痺患者様のうち、麻痺側下腿三頭筋の Modified Ashworth Scale が1以上で、入院中に同筋に対して拡散型圧力波を実施し、初回拡散型圧力波前後に見守り下で10m歩行テストを測定された方です。

電子カルテから以下の情報を研究目的で解析させて頂き、学会発表や学術誌等で公表する場合があります。

<使用させて頂きたい情報>

- ・基本情報：年齢、性別、脳卒中分類、麻痺側、Mini-Mental State Examination、脳卒中発症から初回拡散型圧力波実施までの日数、偕行会リハビリテーション病院入院から初回拡散型圧力波実施までの日数、下肢Brunnstrom Recovery Stage、10m歩行時の杖および短下肢装具の使用有無
- ・初回拡散型圧力波実施時の情報：照射強度（bar）、周波数（Hz）、照射数（shocks）、照射時間、照射に伴う有害事象の有無
- ・評価情報：初回拡散型圧力波前後の最大歩行速度、歩幅、ケイデンス、麻痺側下腿三頭筋の Modified Ashworth Scale および Modified Tardieu Scale-R1、麻痺側足関節背屈の他動可動域
- ・診療記録上の情報：初回拡散型圧力波前後における患者様の内省および理学療法士による歩行観察所見

### 3. 個人情報等の取り扱いについて

研究において知り得た情報は、個人情報として厳重に取り扱います。研究データは個人が特定できないように匿名化して解析し、研究結果を学会や学術誌等で公表する際にも、患者様個人が特定される情報は公表しません。

### 4. 情報使用の拒否について

本研究への診療情報の使用を希望されない場合は、当該患者様のデータを研究解析の対象から除外いたします。拒否された場合でも、患者様が診療上の不利益を受けることはありません。情報使用を希望されない場合や、本研究についてご不明な点がある場合は、下記までご連絡ください。

#### 【問い合わせ先】

医療法人偕行会 偕行会リハビリテーション病院 リハビリテーション部

研究責任者：小林 広空

〒490-1405 愛知県弥富市神戸 5-20

TEL：0567-52-3883 FAX：0567-52-3885

E-mail：riha-therapist@kaikou.or.jp

2026年5月22日作成